

感動・創造都市

～人が輝き 自然が輝き まちの個性が輝く理想郷～

広報



とわだ 2

No. 160

2016



目次

市・県民税の申告はお早めに 2
平成28年度認定こども園・保育所・小規模保育事業の利用受け付けを開始します 4
とわだ子ども議会 22

市・県民税の申告はお早めに！

平成28年度市・県民税の申告を

2月8日(月)から3月15日(火)まで

受け付けします

閩税務課市民税係 ☎ 6766

☎ 6767

申告書は前回の申告状況により、申告が必要と思われるかたに郵送しています。内容をご確認の上、期間内の申告をお願いします。

また、申告書が郵送されなにかたでも、申告が必要な場合があります。下記の図で確認し、必要な場合は期間内の申告をお願いします。

●申告・相談受付日時

2月8日(月)～3月15日(火)

▼午前8時40分～11時

▼午後1時～4時

※土・日曜日、祝日を除きます。

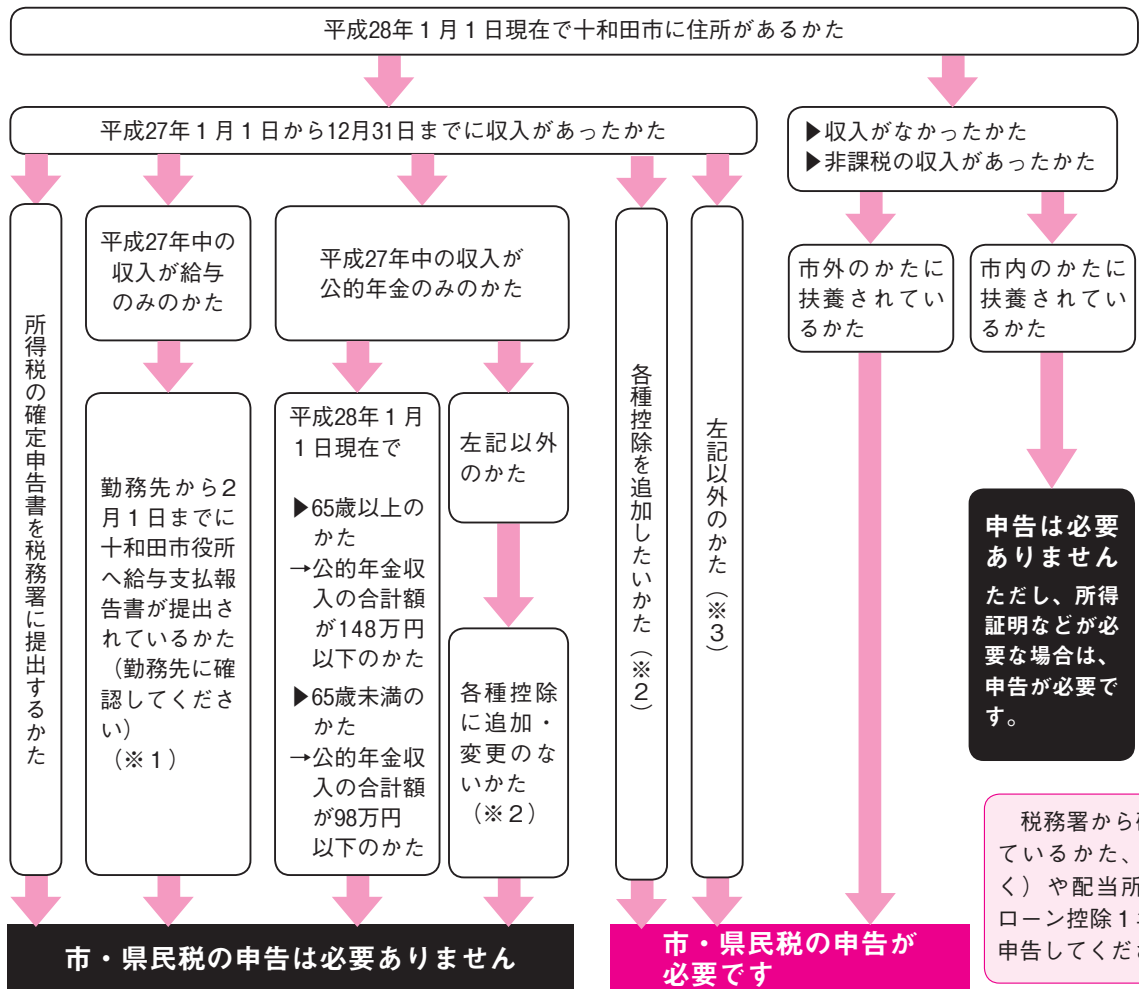
ただし、3月6日(日)は受け付けます。(開庁は午前8時からです)

●会場

市役所新館5階会議室



 申告が必要なのか確認しましょう



(※1) 給与支払報告書により課税されるかたで、各種控除(※2)の追加を受けようとするかたは、申告が必要です。
 (※2) 控除の主なものとして、障害者控除、寡婦控除、寡夫控除、扶養控除、医療費控除、社会保険料、生命保険料、地震保険料などがあります。
 (※3) 公的年金の収入が400万円以下で年金以外の所得が20万円以下のかた、年末調整済給与のほかに20万円以下の所得があったかたは、所得税法の改正により確定申告は不要となりましたが、市県民税の申告は必要です。

 申告に必要なものをチェックしましょう

- ①申告書および申告受付票（市役所新館5階の申告会場にもあります）
- ②印鑑（朱肉の必要なもの）
- ③給与や年金の源泉徴収票
- ④作成した営業・農業・不動産などの収支内訳書または帳簿など

※領収書は経費ごとに必ず整理・集計し収支内訳書に記載してください。

- ⑤平成27年中に支払った次の領収書を集計したもの

▷国民年金保険料▷国民健康保険税▷介護保険料▷後期高齢者医療保険料▷生命保険料（一般生命保険料・個人年金保険料・介護医療保険料）▷地震保険料▷医療費の控除証明書や領収書など

※領収書は必ず集計してください。

- ⑥本人または扶養される人が障害者などであることを証明するもの（障害者手帳など）

▶書類やレシートなどは必ず整理・集計し、事業所得などのあるかたは、**収支内訳書を作成の上、持参**してください。



◆自分で書いて提出も
できます

申告時間の軽減や自分の申告内容の把握のため、自申告を推進しています。自分で申告書を作成されたかたは、郵送で提出してください。不明な点があれば後日、照会します。

◆申告をしなかった場合

▼国民健康保険税および後期高齢者医療保険料の軽減の適用や、国民年金保険料の免除が受けられない場合があります。

▼保育所への入所、市営住宅への入居、児童扶養手当の受給、金融機関からの借り入れなどに必要な所得証明書などの交付が受けられません。

◆営業・農業・不動産
などの所得があるか
たが申告をする場合

書類やレシートは必ず整理・集計し、収支内訳書を作成してください。

整理・集計・収支内訳書作成をしていないかたは、整理・集計・収支内訳書作成後の受け付けとなります。

◆上場株式など配当の
確定申告をする場合

配当控除や損益通算によって税額の還付を受けようとする場合は確定申告が必要です。それに伴い、国民健康保険税の算定や扶養の判定、各種控除（所得基準）などに影響が出ることがあります。

◆東日本大震災に対する
寄附金控除

原則として寄附した団体からの領収書が必要ですが、震災関連寄附金については振込依頼書の控えや郵便振替の半券（共に原本）でも申告できます（寄附団体によっては、他に確認書類を求められる場合があります）。

◆その他

税務署から確定申告書が郵送されたかたには市・県民税の申告案内は行いません。申告が必要なかたで申告書の郵送を希望するかたはご連絡ください。

※申告書は、市ホームページからもダウンロードできます。

平成27年分確定申告のお知らせ

〒100-8585 十和田税務署 ☎019-3151

とき 2月16日(火)～3月15日(火) ※土・日曜日、祝日を除く。
午前9時～午後5時

ところ 十和田奥入瀬合同庁舎1階

種類	申告・納期限
所得税・復興特別所得税、贈与税	3月15日(火)
消費税・地方消費税	3月31日(木)

※国税庁ホームページからも申告できます。



▲会場内にe-TAXコーナーを設置します

便利なe-TAX（パソコン申告）をお勧めします

ご自身でパソコンを使用し、申告書を作成するコーナーを設置。指導員が操作の仕方を説明します。



平成28年度認定こども園・認可保育所・小規模保育事業の利用受け付けを開始します

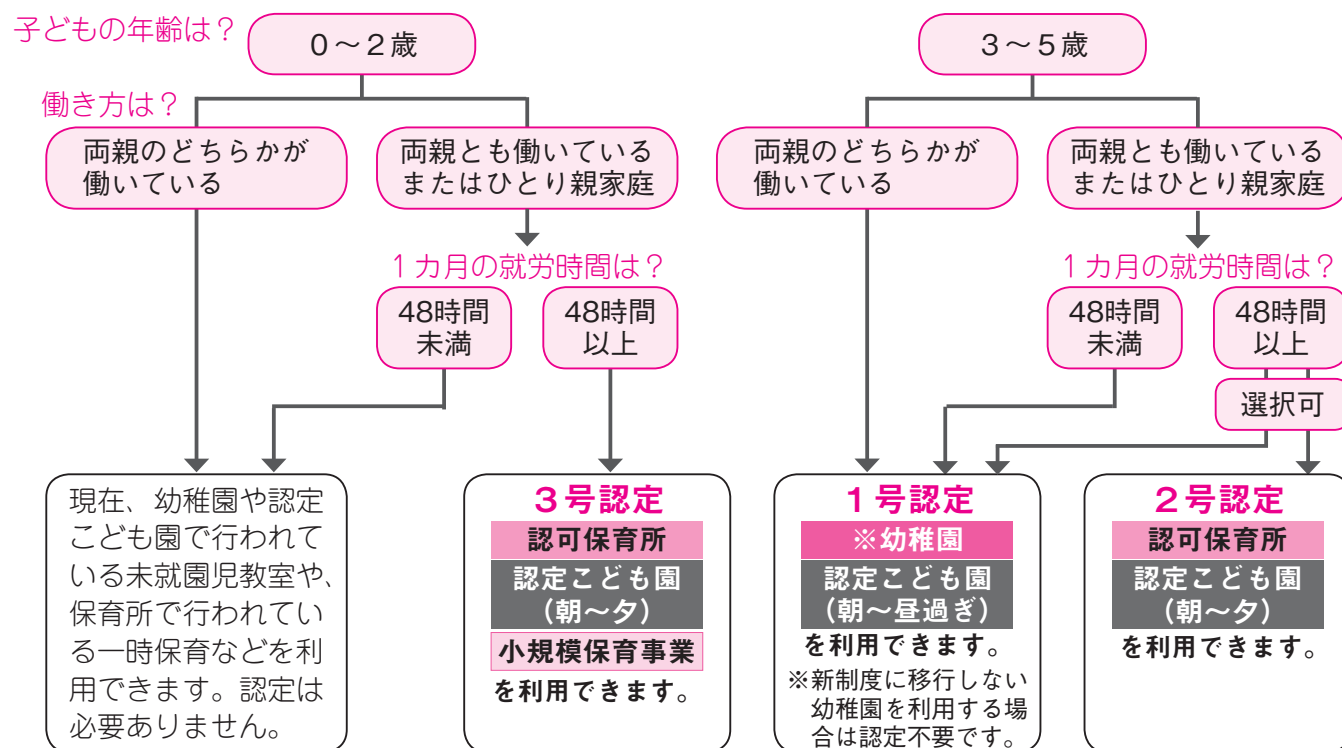
☎福祉課子育て支援係 ☎6717

① 利用できる施設と事業

認定こども園	幼稚園	認可保育所	小規模保育事業
教育と保育を一体的に行う施設	幼児期の教育を行う学校	就労などにより保育できない保護者に代わって保育する施設	少人数の単位で保育する事業

施設の利用には認定が必要！

② 認定区分早わかりチャート



③ 保育の認定（2号・3号）と保育利用時間、利用者負担額

保育の認定を受けるためには、保護者のいずれかが下記事由に該当することが必要です。

- ・月48時間以上の就労
- ・妊娠
- ・出産
- ・育児休業中
- ・病気や障がい
- ・親族の看護・介護
- ・災害復旧
- ・求職活動
- ・就学 など

保育利用時間（保育必要量）

区分	保護者の状況（就労の場合）	1日に保育を利用できる時間
保育標準時間	1カ月の就労時間が120時間以上	最長11時間
保育短時間	1カ月の就労時間が48時間以上120時間未満	最長8時間

利用者負担額（保育料）

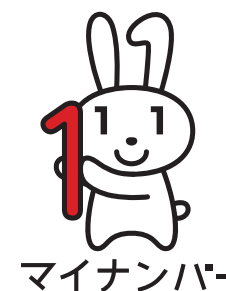
保護者の市民税額を基に算定します。詳しくは市ホームページをご覧ください。

- ◆平成28年4月～8月の保育料・・・平成27年度市民税額から算出
- ◆平成28年9月～平成29年3月の保育料・・・平成28年度市民税額から算出



④ 申し込みにはマイナンバーが必要です

申請書にマイナンバーを記載していただく必要があります。
 申請の際には、申請者の通知カードと顔写真付きの本人確認ができるもの（運転免許証、パスポートなど）、または個人番号カードをお持ちください。
 顔写真付きの本人確認ができるものを持っていない場合は、健康保険証、年金手帳などの2種類の本人確認ができるものが必要です。
 代理のかたが申請される場合は、代理人の本人確認ができるもの（顔写真付き）と委任状が必要です。



⑤ 2号と3号の認定・利用申し込みは市役所で受け付けます

新規4月入所

受付期間 2月15日(月)～24日(水) 午前8時30分～午後7時
 ※土・日曜日は午前9時～午後4時30分

※利用希望を踏まえて市が利用調整を行います。（先着順ではありません。）

申し込みに必要な支給認定申請書、施設の保育利用申込書は、2月1日(月)から市役所で配布します。

継続入所

現在通っている保育所などを継続して利用する場合も現況届の提出が必要です。

利用している施設を通じて必要書類が配布されていますので、2月26日(金)までに手続きをお願いします。

※1号の認定・利用申し込みは、施設で受け付けます。

利用施設一覧

認定こども園（1～3号認定のお子さんが利用できます。）

さつき幼稚園 ☎221636	十和田みなみ幼稚園 ☎233797	小さな森こども園 ☎234793
まきばのこども園 ☎221456	まるくこども園 ☎214703	緑と太陽の保育園 ☎243088
ひかり保育園 ☎233446		

認可保育所（2号・3号認定のお子さんが利用できます。）

十和田湖保育園 ☎752251	みきの保育園 ☎233644	とわだこ中央保育園 ☎703061
友愛保育園 ☎233098	第二友愛保育園 ☎234514	第三友愛保育園 ☎234792
豊ヶ岡保育所 ☎273466	十和田めぐみ保育園 ☎220141	白菊かねざき保育園 ☎234369
白菊保育園 ☎232997	第二白菊保育園 ☎233829	第三白菊保育園 ☎233363
第四白菊保育園 ☎272508	第五白菊保育園 ☎221903	十和田乳児保育園 ☎237119
八郷保育園 ☎226206	すずらん保育園 ☎222590	わんぱく広場保育園 ☎241089
十和田つくし保育園 ☎251294	ほなみ保育園 ☎222589	さくら保育園 ☎25482
チッコハウス保育園 ☎236333		

小規模保育事業（3号認定のお子さんが利用できます。）

きく保育園 ☎239066

幼稚園（1号認定のお子さんが利用できます。）

北園幼稚園 ☎232518

新庁舎建設事業に向けた取り組みを進めています

問管財課 ☎ 56707

決定 新庁舎の基本計画・基本設計業者が決定しました

11月12日にプロポーザル第2次審査が行われ、4者による公開プレゼンテーションや選定委員によるヒアリングを行った結果、株式会社山下設計東北支社が最優秀提案者に選ばれました。

現在、市では、同社と業務委託契約を締結し、基本計画策定や基本設計の各種業務を進めています。



▲新庁舎のイメージ図。実際の設計とは異なります

募集 庁舎づくりを考える市民ワークショップの参加者を募集します

新庁舎の建設に関して、自由に意見交換し、さまざまなアイデアを出すことを目的にワークショップを開催します。ワークショップで取りまとめた提案は、庁舎建設の設計などに生かされます。

とき 第1回▶2月20日(土) 午後1時～
第2回▶2月29日(月) 午後6時～
第3回▶3月10日(水) 午後6時～

ところ 南公民館

対象 18歳以上の市民（知識・経験は問いません）

募集人数 15人程度（報酬などはありません）

申込期限 2月10日(水)

結果通知 選考結果は応募者本人に通知します。

申し込み方法

- (1)申込書は市ホームページからダウンロード、または担当課で配布しています。郵送配布も可能です。
- (2)申込書に必要事項を記入のうえ、郵送、持参、FAXまたはメール（kanzai@city.towada.lg.jp）のいずれかで申し込みしてください。

※プロポーザルと市民ワークショップの詳細は、市ホームページをご覧ください。



マイナンバー

個人番号カードは本人が受け取りに来てください

問市民課住民記録係 ☎ 56755

本人が病気、身体に障害があるなど、やむを得ない理由で来庁することが難しい場合に限り、代理のかたが受け取ることができます。『仕事のため』という理由では受け取ることができません。

カード交付時には、暗証番号の入力が必要です。あらかじめ準備をしておきましょう。

- ★交付期間 交付通知書（はがき）が届いたかたから順次交付します。
はがきに記載されている期日までに受け取りに来てください。（土・日曜日、祝日を除く）
- ★受付時間 午前8時30分～午後5時
※1月号でお知らせした受付時間に変更になりました。
- ★交付場所 市役所新館3階会議室
- ★持参する物（詳しくは通知カードに同封されているパンフレットをご覧ください。）

ご本人が来庁する場合	代理のかたが来庁する場合
①交付通知書（はがき） ②通知カード ③本人確認書類（免許証など） ④住民基本台帳カード（お持ちのかたのみ） ※なりすまし防止のため、受け取りの際に顔認証システムによる確認をする場合があります。	左記①～④ ※①は暗証番号が記載され、目隠しシールを貼付しているもの。③は2点以上。 ⑤代理のかたの本人確認書類2点以上 ⑥委任状（①の委任状の欄をご利用ください。） ⑦本人が来庁困難であることを証する書類（診断書など）

※15歳未満・成年被後見人のかたは法定代理人（保護者など）とご一緒に来庁してください。



マイナンバー総合フリーダイヤル ☎ 0120-95-0178

午前9時30分～午後10時（土・日曜日、祝日は午後5時30分まで）

マイナンバー制度の詳細はホームページでもご覧になれます。

政府広報

検索

十和田市国民健康保険に加入のみなさんへ 国民健康保険税の税率が平成28年度から変わります

十和田市国民健康保険税の算出に用いられる税率が下記の内容に変更されます。

国民健康保険課国保税係 ☎516751

国民健康保険とは…

病気やけがをしたとき安心して医療が受けられるように、保険税を負担し合い、お互いに助け合う制度です。職場の健康保険に加入しているかたなどを除く、75歳未満の全てのかたが加入することとなっており、市では、市民の約3割、65歳～74歳では7割を超えるかたが加入しています。

改正が必要な理由

適正受診の呼び掛けなどによる歳出抑制や収納対策などによる歳入確保に努めながら国民健康保険事業を運営してきましたが、加入者の高齢化や医療技術の高度化により医療（給付）単価が増加し、毎年多額の赤字が出ています。

この多額の赤字分については、基金を取り崩して補ってきましたが、現在、基金が尽きる状況となったことから国民健康保険事業の安定的運営のため、保険税の税率の引き上げが必要となりました。

税率については、平成20年度から据え置き、平成26年度の当市の一人あたりの保険負担額は県内10市の中では低い方から2番目という状況でしたが、改正後の保険負担額は県内の平均的な額となる見込みです。

税率の改正の詳細

	基礎（医療）分		後期高齢者支援分		介護納付分 （40～65歳未満）	
	現行	平成28年度	現行	平成28年度	現行	平成28年度
所得割	6.8%	7.7%	1.7%	2.4%	0.9%	1.8%
資産割	22.4%	改正なし	5.4%	改正なし	3.0%	改正なし
均等割	22,600円	23,600円	5,400円	8,500円	4,200円	9,100円
平等割	29,900円	改正なし	7,200円	改正なし	5,600円	改正なし

※具体的な課税額は、7月に発送する納税通知書でお知らせします。

医療費に関心を持ちましょう

国保が負担する医療（給付）費の主な財源となっているのが、皆さんの保険税です。

医療費が増えると保険税が上がります。日ごろから健康づくりを心掛け、医療機関の適正な受診にご協力ください。

- ・栄養、運動、休養などの生活習慣を見直しましょう。
- ・定期的に健康診断を受けましょう。精密検査や保健指導が必要になった場合は早目に検査や指導を受けましょう。
- ・緊急時以外の夜間・休日受診は控えましょう。
- ・同じ病気での重複受診は避けましょう。
- ・ジェネリック医薬品を活用しましょう。



市の人口減少に向けた取り組みを紹介します（前編）

人口減少は、転出者数が転入者数を上回る社会減と、死亡数が出生数を上回る自然減の2つに分けられます。

市人口ビジョンでは、移住・定住促進に取り組むことで、平成52年までに社会減をゼロ（転出者数と転入者数が均衡）にすることを目標としました。転出者数を減らし、転入者数を増やすためには、まず市内への定着を図る必要があります。そのためには、生活基盤としての仕事が必要となります。

今月号では、市まち・ひと・しごと創生総合戦略案で取りまとめた人口減少対策のうち、主に社会減へ向けた取り組みを紹介します。

基本目標1 地域における安定した雇用を創出する ～十和田で思いのある仕事を～

地域内での調達を高めるとともに、地域の「稼ぐ力」の拡大に取り組みます

数値目標（平成26年→31年）

- ・年間観光入込客数 271万人 → 300万人
- ・「六次産業化・地産地消法」に基づく総合化事業計画認定事業者数 3件→8件

具体的な取り組み

- ・農業分野の成長産業化
とわだ産品の一層のブランド化と生産力・経営体制の強化に取り組みます。また、6次産業化の推進により外貨獲得や雇用の創出につなげます。
- ・雇用を生み出す創業の推進
新たな産業の創出や育成を進めるとともに、市内事業者の事業の活性化を促進し、本市の経済や産業を支える地域産業の成長・発展を推進します。
- ・戦略的なツーリズムの推進
魅力ある観光地域づくりによる地域ブランドの確立を図るほか、戦略的情報発信や魅力あるサービスの提供を行い、観光産業全体の成長基盤を強化します。

基本目標2 地域への新しいひとの流れをつくる ～十和田でバラ色の人生を～

Uターン希望者の受け入れ支援体制構築と子育て世帯の転出抑制に取り組みます

数値目標（平成26年→31年）

- ・社会増減数 -307人 → -48人

具体的な取り組み

- ・移住・定住の促進
移住希望者及び移住者への支援体制の強化と若者、子育て世帯などの市内定着を促進します。

NEWS みちのく銀行と包括連携協力協定を締結しました



署名後、握手を交わす高田頭取（写真右）と小山田市長

12月22日、市は、株式会社みちのく銀行と『地方創生に係る包括連携協力協定』を締結しました。

締結式では、高田邦洋頭取と小山田市長が協定書に署名しました。市とみちのく銀行が、それぞれの持つノウハウを生かし、包括的な連携のもと、地方創生の各種分野で相互に協力し、地域活力の増進と地域経済の発展に寄与することを目的としたものです。

市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、今後展開する創業支援や農産物の6次産業化、移住促進などの取り組みを進めるため、協力内容を具体化していきます。

2月の健康カレンダー

●乳幼児健診・母子健康相談

▶問診票・母子健康手帳を持参してください。



内容	受付時間	ところ・問い合わせ
◆4か月児健診 健診日までに満4か月に達する乳児	9日(火) 12:00~12:45 ※バスタオル持参	保健センター 問健康増進課 ☎⑤6792
◆1歳6か月児健診 平成26年8月生まれの幼児	17日(水)※歯ブラシ持参 12:00~12:45	
◆2歳児発達健診 平成25年8月生まれの幼児	18日(木)※歯ブラシ持参 12:00~12:45	
◆3歳児健診 平成24年8月生まれの幼児	16日(火) 12:00~12:45	
◆乳幼児相談 子どもの成長発達の心配や接し方、栄養面など悩みがある0歳から就学前の子と保護者	10日(水)9:30~ ※要予約	
◆子どものこころの相談 対象：小・中・高校生	25日(木)14:00~ ※18日(木)まで要予約	

※2歳児発達健診は2歳6か月児が対象です。
※3歳児健診は3歳6か月児が対象です。
※発熱や感染症治療中のときは、翌月以降に受診してください。
※駐車場は、近隣の有料駐車場をご利用ください。

●パパ・ママ教室

対象	内容	受付時間	ところ・問い合わせ
妊婦とその家族(夫・赤ちゃんの祖父)	妊娠・出産・育児の心構え講座や赤ちゃんふれあい体験、調理	3月3日(木) 12:30~13:00 ※要予約	保健センター 問健康増進課 ☎⑤6792

●各種相談

内容	受付時間	ところ・問い合わせ
◆こころの相談 心の悩み、不眠、飲酒など気掛かりのあるかた、家族	3月2日(水)午後 ※2月29日(月)まで要予約	保健センター 問健康増進課 ☎⑤6791
◆栄養相談 市内在住のかた	19日(金) 9:30~13:15~ ※15日(月)まで要予約	
◆もの忘れ相談 もの忘れや認知症の不安がある65歳以上のかた、家族	17日(水) 14:00~15:30 ※12日(金)まで要予約	市役所本館3階第3委員会室 問高齢介護課 ☎⑤6720
◆療育相談 首すわり・おすわり、歩き始めが遅い気がするなど発育や発達について心配のあるお子さんと家族	24日(水) 継続のかた ▶9:30~10:30 新規のかた ▶10:30~11:00 ※要予約	上十三保健所 問☎③4261
◆B型・C型肝炎検査 一般のかた	2月16日(火) 3月1日(火) 13:00~14:00※要予約	
◆精神保健福祉相談 心の悩みや病気に関する相談を希望するかた	17日(水) 13:00~14:00 ※要予約	
◆女性健康相談 思春期や不妊、更年期障害などにお悩みのかた	16日(火) 10:00~10:30	
◆エイズに関する相談 一般のかた	2月16日(火) 3月1日(火) 13:00~14:00※要予約	

●献血のお知らせ 問健康増進課健康管理係☎⑤6790

実施予定日	時間	場所
11日(木)	10:00~11:45	イオンスーパーセンター十和田店
	13:00~16:00	

インフルエンザの予防について

インフルエンザの流行は、例年1月下旬から2月にピークとなります。

通常の“かぜ”とは違い、特に幼児や高齢者など抵抗力の弱いかたがかかると重症化しやすく、死に至る場合もあります。

手洗い、外出時のマスクの着用など、予防を行い、症状が出始めたら早めに医療機関を受診しましょう。

問健康増進課健康管理係☎⑤6790

3月1日~8日は『女性の健康週間』

厚生労働省は、女性が生涯を通じて健康で明るく、充実した日々を自立して過ごすことを支援するため、「女性の健康週間」を設けています。ぜひ、この機会に自分や家族の健康について考えてみましょう。

健康のために…

☆タバコは、喫煙者だけでなく、受動喫煙による健康被害も明らかにされています。

タバコをやめたいと思っているかたは、この機会にチャレンジしてみませんか？

☆自分の身体に関心を持ち、子宮頸がん、乳がんの予防や早期発見を心掛け、2年に1度は健診を受けましょう。

問健康増進課保健相談係☎⑤6791

健康とわだポイントラリーPART2♪ 参加賞の引き換えは2月29日まで！

各種健康診査の受診や健康講座などへの参加で30ポイント以上集めたかたは、参加賞を受け取ることができます。ポイントカード持参のうえ、参加賞引換場所までお越しください。

引換場所 市保健センターか市役所国民健康保険課
参加賞 次のうちいずれか1つ※

- ①「市民の家」無料入浴券2人分
- ②「市総合体育センター」ウォーキングコース無料利用券2人分

※さらに抽選で、フットマッサージャーや体組成計など健康づくりに役立つ景品が当たります！当選者には3月中にはがきでお知らせします。

その他 保健センター以外で受けた健診もポイント対象になります。健診結果表を持参すると、市保健センターか国民健康保険課でポイントがつきます。

問健康増進課保健相談係☎⑤6791



平成 28 年十和田市成人式



▲成人の誓いに続いて、市民憲章を唱える小野さん（写真右）と太田さん（同中央）

晴れの儀式に 未来を誓う

1月10日、冬の晴れ間の下、開催された成人式。今年、平成7年4月2日から平成8年4月1日生まれのかたが成人を迎えました。

式典に参加した602人の新成人の皆さんは、背筋を正して、小山田市長や来賓からのお祝いの言葉に聞き入りました。続いて、新成人を代表して、小野滉貴さんと太田星香さんがそれぞれ「地元の魅力を引き継ぎ、力になりたい」、「自立し、胸を張れる大人になりたい」と誓いの言葉を述べました。

今年初めて、新成人による成人式実行委員会が組織され、式典第2部を企画・進行。アトラクションには新成人たちも出演し、会場は一体感を増して盛り上がりました。

時に真摯に、時ににぎやかに。新成人たちの振る舞いは清々しく、まばゆい希望を胸に、成人の第一歩を踏み出しました。



- 1 あちらこちらで友人と撮影する姿が見られました
- 2 実行委員会が抽選会を企画。当選者にマイクを渡し話を聞きました
- 3 高校時代に活動した新成人のブレイクダンスチームが久々に再結成
- 4 式典の合間にリラックス。笑顔で応えます
- 5 お祝いに駆け付けた恩師に、成人の仲間入りを報告しました
- 6 市民憲章唱和。未来に羽ばたくまちづくりの主役です
- 7 式典後、会場の外に集合し、記念撮影をしました





ほっと まちのニュース

市内のイベントを随時発信！

十和田市ブログ駒の里

検索



1/18

誘致企業14年ぶりの工場立地

東京組・県と工場立地基本協定調印

十和田富士屋ホテルで株東京組（中野渡利八郎代表取締役会長）、青森県、市の3者が『工場立地基本協定』の調印を行いました。同社は、県産スギを使用し、断熱性能に優れた低価格の木製サッシを生産する国内最大規模の工場（『株日本の窓』）を来年3月に操業予定で、従業員28人の地元採用も予定しています。

地域の木材を活用した産業振興と雇用創出に大きな期待が集まります。



協定書を披露（左から小山田市長、当市出身の中野渡代表取締役会長、八桁幸男県商工労働部長）



りりしく行進する姿に、沿道の観客からたくさんの拍手が送られました

1/17

空高く響くラッパの音と号令の声

十和田市消防出初式

十和田市消防出初式が官庁街通りなどで行われました。官庁街通りには、消防職員と消防団員合わせて745人と、消防車両50台が整列。小山田市長らが巡閲した後、ラッパ隊の演奏に合わせて勇壮な分列行進を披露しました。市民文化センターに移動後の式典では表彰などが行われ、一年間の消防団活動などを通して、最も優れた第4分団が優良消防分団、第2分団と第5分団が準優良消防分団を受賞し、小山田市長から表彰を受けました。

1/9

行け行け！ぼくらの自慢のロボット

少年少女発明クラブロボット競技会

南公民館で『平成27年度十和田市少年少女発明クラブロボット競技会』が開催され、39人のクラブ員がロボコップ相撲、甲虫ロボ競技、オーバー・ヒル・アタックの3種目で自作のロボットを操作し競い合いました。

ロボコップ相撲で優勝した大坂流空くん（東小4年）は「モーターを前に付けてパワーを出すように工夫しました。ロボット作りは好きなので、これからも続けていきたいです」と話しました。



相手側得点ゾーンに入れたゴルフボールの数を競うオーバー・ヒル・アタック。真剣な表情で操作します



最後に、参加者全員で「ラヴィアンローズ！」ボランティアの皆さん、ありがとうございました

1/6

ボランティアは当市の誇り

ボランティア感謝の集い&解団式

市民文化センターで、『第10回B-1グランプリ in 十和田ボランティア感謝の集い並びに解団式』が行われました。解団式では、大会長の小山田市長がボランティアに協力した小・中・高校30校に感謝状を贈呈。ボランティアを代表し、高屋友輔さん（十和田西高3年）が「地域愛にあふれたかたがたと時間を共有できたことを誇りに思います。今後も市民全員で、元気な十和田になるためのまちづくりを頑張っていきましょう」とあいさつしました。

みんなでお出かけよう



上十三・十和田湖広域定住自立圏圏域のイベント情報をお届けします♪

三沢市

三沢市民大学趣味講座学習成果発表会

三沢市公会堂で各種の講座を受講されているかたがたの1年間の発表の場です。展示・舞台の両部門で開催されます。

とき 3月5日(土)～6日(日)
舞台部門は6日のみ

ところ 三沢市公会堂
問三沢市公会堂 ☎0175③8711

三沢航空科学館

エアレーサーを作ろう

表面効果で、ホバークラフトのように地面から浮いて滑っていくエアレーサーを作製。

とき 2月の土・日曜日、祝日
①午前11時②午後2時30分
ところ 三沢航空科学館

問三沢航空科学館 ☎0175⑥7777

野辺地町

第10回のへじ停車場ランタン祭り

とき 2月6日(土)
ところ 観光物産PRセンターほか
問のへじ停車場まつり実行委員会 ☎0175④3316

真冬のドリンクラリー

主催者が指定した店舗3軒を回り、スタンプをゲット！抽選会あり。前売り券2500円、当日券3000円

とき 2月11日(木)～13日(土)
午後6時30分～8時30分

受け付け 野坂ビル1階
問野辺地町商工会 ☎0175④2164

おいらせ町

百石えんぶり

とき 2月15日(月)～17日(水)
午前9時～午後4時
ところ おいらせ町分庁舎周辺
問おいらせ町社会教育・体育課 ☎0178⑥4276



おいらせ町民俗芸能発表会

とき 2月28日(日)
午後1時～4時30分
ところ 町民交流センター
問おいらせ町社会教育・体育課 (同上)

おいらせ町写真展

町誕生10周年を記念し、町の自然や町民の笑顔など町の魅力を写真で展示。
とき 2月25日(木)～3月9日(水)
ところ イオンモール下田
問おいらせ町総務課 ☎0178⑥2166

とわだの文化財②4 ～十和田市の文化財を紹介するコーナーです 問スポーツ・生涯学習課 ☎0175⑦2313

「市内の城館跡」

城館とは、地域の支配者が、堀や土塁をめぐらして造った居城で、多くは河川や沼、沢に面した丘陵や段丘などの自然地形を利用して築られました。

市内には、かつての城館跡とみられる遺跡が32カ所あり、奥入瀬川やその支流などに多く見られます。

市内では、洞内地区の洞内城跡、伝法寺地区の伝法寺館跡、赤沼地区の赤沼備中館跡、切田地区の切田前谷地(1)遺跡、上館遺跡の5カ所の城館跡において発掘調査が行われました。

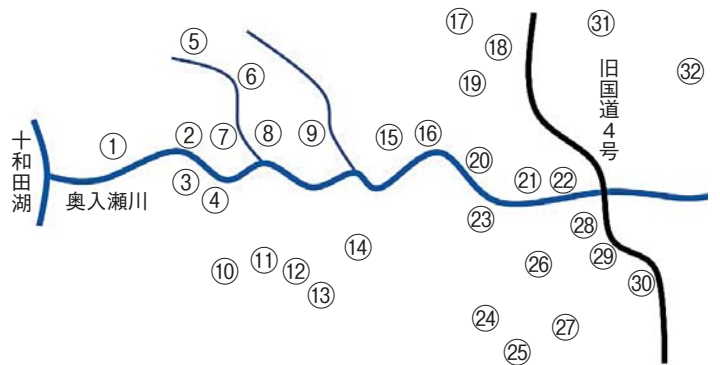
発掘調査は道路工事などの開発に伴い、遺跡の一部分だけで行われていることから、現段階で全容を知ることは難しい状況です。

市内には、県教育委員会作成の『青森県遺跡地図』にある32カ所の城館跡以外に、20数カ所に城館が存在したといわれており、今後の研究が待たれます。

さて、24回にわたり市内の文化財を紹介してきた「とわだの文化財」は今回で最終回となります。みなさんの周りには数多くの文化財や、郷土の歴史に興味を持っていただけましたなら幸いです。

【文責・十和田市文化財保護協会】

市内の城館跡位置図



- ①善蒼寺遺跡 ②百目木遺跡 ③立石(1)遺跡 ④長瀬遺跡
- ⑤鳥谷附遺跡 ⑥山屋遺跡 ⑦川代遺跡 ⑧中里(1)遺跡
- ⑨長沢遺跡 ⑩野月遺跡 ⑪奥瀬遺跡 ⑫中ノ沢遺跡
- ⑬芦名沢遺跡 ⑭沢田館跡 ⑮下山館跡 ⑯佐井幅遺跡
- ⑰豊良館跡 ⑱小田館跡 ⑲相内遺跡 ⑳赤沼備中館跡
- ㉑西白上館跡 ㉒東白上館跡 ㉓三日市遺跡 ㉔上館遺跡
- ㉕大不動館跡 ㉖切田前谷地(1)遺跡 ㉗米田館跡
- ㉘小山上平館跡 ㉙藤島館跡 ㉚伝法寺館跡 ㉛洞内城跡
- ㉜高清水館跡

※青森県教育委員会2009『青森県遺跡地図』を基に作成



市役所代表

☎ 23 5111

FAX 22 5100

土・日曜日および祝日は閉庁

◆お知らせの表記

- ☎…問い合わせ先
- ☎…申し込み先
- ※費用の記載がないものは無料です。

市民図書館からのお知らせ

■休館のお知らせ

蔵書点検のため休館します。

休館期間 2月22日(月)～26日(金)

休館中に休止するサービス

▼市民図書館のホームページからの

Webメール予約、貸し出し延長

手続き、遠隔地貸し出し返却サ

ビス

▼県立図書館のオンライン貸し出し

サービスの、遠隔地返却サービス

本の返却 本と雑誌のみ、返本ポス

トをご利用ください。返本ポス

トは24時間利用できます。CD、D

VD、紙芝居、大型絵本、相互貸

借資料の返却については、破損防

止のため開館日

にサービスカウ

ンターで行って

ください。



■「図書セット貸出」をご利用ください

保育園、学校、介護老人保健施設

などへ図書セット貸出サービス

を行っています。

貸出冊数 1箱30冊(本の選定は図

書館が行います)

貸出期間 1カ月または2カ月

☎市民図書館 ☎23 7808

後期高齢者医療 高額医療・高額介

護合算療養費支給申請のお知らせ

平成26年度分(平成26年8月～平

成27年7月)の支給要件に該当する

と思われる世帯には、2月下旬に青

森県後期高齢者医療広域連合から支

給申請のお知らせを送付します。支

給を受けるには必ず申請が必要で

す。

支給対象 世帯内の被保険者の医療

費と介護保険サービス費の自己負

担額の合計が、別表の自己負担限

度額を超えたとき、その超えた額

自己負担限度額

所得区分	後期高齢者医療+ 介護保険サービス 費の年間の世帯の 自己負担限度額
現役並み所得	67万円
一般	56万円
低所得Ⅱ	31万円
低所得Ⅰ	19万円

※詳しくはお問い合わせください。

☎国民健康保険課 ☎51 6752

遺児卒業祝金を支給します

中学校卒業時に、卒業祝金を支給し

ますので対象者は申請してください。

対象者 次のいずれか

①父または母の死亡により遺児と

なった児童を養育する保護者

②父または母のいない児童を養育す

る保護者

申請期間 2月1日(月)～29日(月)

持ち物 ▼ひとり親家庭等医療費

受給資格証または戸籍謄本など、

父母の死亡などを確認できるもの

▼印鑑▼通帳

※申請書は福祉課窓口に備え付けて

います。

☎福祉課 ☎51 6717



納税通知書送付用封筒に広告を掲載 しませんか

広告媒体 平成28年度中に市税(固

定資産税・都市計画税、軽自動車

税、市県民税)の納税通知書の送

付に用いる封筒

(印刷枚数6万3千枚)

掲載規格 封筒裏面に2枠

1枠につき縦37mm・横110mm

募集枠 1枠

掲載料 5万円(税込み)

申込期限 2月10日(水)

※詳しくは市ホームページをご確認

ください。

☎国税務課 ☎51 6765

国民年金保険料納付には「前納制度」があります

まとめて前払いすると割引になる前納制度をご利用ください。

※当月分を当月末に口座振替で納付する、50円割引もあります。

※口座振替の申し込みには、年金手帳、通帳、通帳印などが必要です。

☎八戸年金事務所 ☎0178-43-7369

▶市民課 ☎51 6753

▶十和田湖支所 ☎72 2312

■前納制度の納付期限と申込期限

※27年度の割引額(円)

納付方法	納付期限	申込期限	割引額※	
2年前納	口座振替	4月末日	2月末日	15,360
1年前納	口座振替	4月末日	2月末日	3,920
	納付書			3,320
6カ月前納	4月分～9月分	4月末日	2月末日	1,060
				760
	10月分～翌年3月分	10月末日	8月末日	1,060
				760

小・中学校入学通知書を郵送しました

4月に小学校入学予定である児童の保護者へ、1月中旬に入学通知書（はがき）を郵送しました。

また、中学校入学予定の生徒には小学校から配布しています。

まだ入学通知書が届いていないかたは、ご連絡ください。

園教育総務課 ☎ 2305

家畜などを飼養しているかたは定期報告書を提出してください

家畜などを飼養しているかたは、毎年2月1日現在の飼養状況を県知事あてに報告することが義務付けられています。

※愛玩用として鳥類を数羽飼養している場合でも報告が必要です。

対象 牛、水牛、鹿、馬、めん羊、豚、いのしし、鶏、あひる、うずら、きじ、ダチョウ、ほろほろ鳥、七面鳥

報告期限 鳥類以外・2月15日(月)

鳥類・3月31日(木)

提出先 鳥類以外・農林畜産課

鳥類・十和田家畜保健衛生所

提出方法 持参、郵送またはフアクス

※報告書の様式は、十和田家畜保健衛生所または農林畜産課に備え付けています。

園 十和田家畜保健衛生所

☎ 236235 FAX 233044
農林畜産課 ☎ 6745

介護保険料の納付について

介護保険は、介護が必要な状態になっても安心して自立した生活ができるようにみんなで支え合う制度です。介護保険料を納めていないと、滞納処分として差し押さえを受けたり、介護サービスを利用するときに全額自己負担することになります。

また、保険料は2年を過ぎるとさかのぼって納付できなくなり、サービスを利用する際の負担が大きくなります。納付が困難なかたは、来庁の上、お早めにご相談ください。2月は、20ページのとおり夜間の納付と相談窓口を開設しますのでご利用ください。

園 高齢介護課 ☎ 6721

スポーツ安全保険に加入しませんか

スポーツ・文化・ボランティア・地域活動などを行う社会教育活動団体（4人以上）を対象とした保険です。対象 団体活動中の事故、往復中の事故など

保障内容 傷害保険、賠償責任保険など

加入受付開始日 3月1日(火)

保険期間 4月1日から1年間

※加入依頼書は、スポーツ・生涯学習課および市総合体育センターに備え付けています。

園 スポーツ安全協会青森県支部

☎ 017-782-6984



2/1
開始

「119番、上十三消防指令センターです」

十和田消防庁舎内で上十三地域8市町村の119番通報を受け付けします

上十三地域4消防本部は、地域の消防力向上と広域応援体制の充実強化のため、平成25年4月から共同で高機能消防指令システムの整備を進めてきました。いよいよこの2月から、共同の指令センターである上十三消防指令センターが、上十三地域4消防本部の管轄区域である8市町村の119番通報を受け付けします。

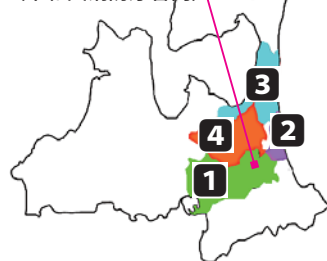
👉 場所は「十和田市」から伝えましょう。

上十三消防指令センターには8市町村から119番通報が寄せられます。正確な住所で、「十和田市大字●●字●●△△番地」とはっきり伝えましょう。

👉 指令センターの質問に落ち着いて答えましょう。

慌てて一方的に話すと、通報の内容が分かりづらくなります。指令センターでは出動する場所や車両を決定するために質問します。落ち着いて答えましょう。

上十三消防指令センター (十和田消防庁舎内)



- 1 十和田地域広域事務組合消防本部 (十和田市、六戸町)
- 2 三沢市消防本部 (三沢市)
- 3 北部上北広域事務組合消防本部 (野辺地町、横浜町、六ヶ所村)
- 4 中部上北広域事業組合消防本部 (七戸町、東北町)



**福祉教育インストラクター養成研修
参加者募集**

学校や地域で福祉教育の指導を行うボランティアの養成研修です。動きやすい服装で参加してください。
とき 2月26日(金)
午前10時～午後3時30分

ところ 市民交流プラザ「トワール」
定員 20人(これまでに受講したかたを除く)

内容 ボランティア活動に必要な知識、視覚障害者への介助方法など
持ち物 筆記用具、昼食

申込期限 2月18日(木)
☎市社会福祉協議会 ☎②③ 2992

家族そろって交通災害共済に加入しましょう

青森県交通災害共済は日本全国各地で起きた交通事故でも、見舞金をお支払いする共済制度です。1日の治療や自転車のけがでも対象になります。なお、自転車による転倒の場合も警察に届け出し、事故証明書を取得するようお願いいたします。

会費 一人350円

共済期間 4月1日から1年間

加入受け付け 2月1日(月)から

☎まちづくり支援課 ☎⑤ 6777

期間業務職員・非常勤職員等募集

<p>道路維持作業員 (期間業務)</p>	<p>環境維持管理作業員 (期間業務)</p>	<p>パートタイマー・臨時職員登録</p>
<p>対象 昭和26年4月2日以降に生まれたかたで、市内に住所があり、次のいずれかに該当するかた Ⓐ普通自動車の運転免許を有し、草刈機技能講習とチェーンソー技能講習を修了しているかた、または草刈機技能講習とチェーンソー技能講習を受講する意思が有るかた Ⓑ大型自動車・大型特殊自動車の運転免許を有し、草刈機技能講習とチェーンソー技能講習を修了しているかたで、車輛系建設機械運転技能講習を修了し、重機などを運転した作業経験が有るかた 業務内容 道路の維持・補修・清掃業務、除雪作業、凍結防止剤散布作業 募集人員 若干名 勤務日 月～金曜日(祝日を除く) 勤務時間 午前8時30分～午後5時15分 賃金 Ⓐ日額7,900円 Ⓑ日額9,300円 ※いずれも社会保険、雇用保険加入 任用期間 平成28年4月1日から平成29年3月31日のうち11カ月 面接試験 2月24日(水)午後1時30分 南公民館 提出書類 履歴書(市販のものに顔写真貼付)、各自動車運転免許証の両面の写し、それぞれの受講修了証の写し 申込期限 2月17日(水) 申問 土木課 ☎⑤ 6730</p>	<p>対象 昭和26年4月2日以降に生まれたかたで、十和田市に住所がある次のいずれにも該当するかた ①普通自動車運転免許を有するかた ②草刈機技能講習とチェーンソー技能講習を修了しているか、受講する意志があるかた 業務内容 都市公園、保全地区、街路内の樹木及び緑地の維持管理作業など 募集人員 若干名 勤務日 月～金曜日(祝日を除く) 勤務時間 午前8時30分～午後5時15分 賃金 日額7,900円 ※社会保険、雇用保険加入 任用期間 平成28年4月1日～平成29年3月31日のうち8カ月～11カ月 面接試験 2月24日(水)午前9時 市役所新館4階会議室 提出書類 履歴書(市販のものに顔写真貼付)、自動車運転免許証の両面の写し、それぞれの受講修了証の写し(※受講済みのかた) 申込期限 2月15日(月) 申問 都市整備建築課 ☎⑤ 6737</p> 	<p>勤務場所 各課・施設 対象 昭和26年4月2日以降に生まれたかた ※臨時職員は高等学校卒業以上、登録者数の制限はなし、身体に障害があるかたでも介助者なしで業務を行えるかたは申し込み可 業務内容 事務補助(主にパソコン使用) 勤務日 月～金曜日(祝日を除く) 勤務時間 ▶パートタイマー 午前9時～午後3時30分 ▶臨時職員 午前8時30分～午後5時15分 賃金 ▶パートタイマー 時給760円 ▶臨時職員 月額144,600円程度 任用期間 4月から平成29年3月の間で、業務内容により期間を決定 面接試験 ▶パートタイマー なし ▶臨時職員 2月24日(水) ※時間と場所は受付時にお知らせします。 提出書類 履歴書(市販のものに顔写真貼付) ※パソコン(ワード、エクセルなど)の資格などを記入 ※履歴書上部に「パートタイマー希望」「臨時職員希望」「臨時職員・パートタイマー希望」のいずれかを記入 申込期限 ▶パートタイマー 随時受け付け ▶臨時職員 2月17日(水)必着 申問 人事課 ☎⑤ 6705</p>

市営住宅入居者募集

市営住宅の入居申し込みは随時受け付けています。

対象 次の条件のすべてに該当するかた

▼現在、住宅に困っているかた

▼税金を滞納していないかた

▼収入が政令で定められた金額以下のかた

家賃 団地ごとに異なりますのでお問い合わせください

敷金など 敷金は家賃の3カ月分、保証人は2人必要

必要書類 ①入居申込書②給与支払証明書③世帯全員分の住民票④平成27年度分の所得課税証明書⑤平成26年度分の納税証明書

※家族構成により、その他の書類が必要な場合があります

※①②は都市整備建築課で配布します。

選考方法 先着順（空きがない場合は、空き待ちの登録が可能です）

申問 都市整備建築課 ☎⑤6738

県営上平団地入居者募集

対象 次のすべてに該当するかた

▼現に同居し、または同居しようとする親族のあるかた

▼収入が政令で定められた金額以下のかた

▼現在、住宅に困っているかた

▼県税および県営住宅の家賃を滞納していないかた

種別・募集戸数 ▼2DK 1戸
入居予定日 4月1日(金)

募集期間 2月1日(月)～15日(月)

選考方法 審査の上、応募者多数時公開抽選

申問 上北地域県民局建築指導課
☎②8111内線338

サギ被害防止のための通話録音装置モニター募集

高齢者が狙われる特殊詐欺の被害が後を絶ちません。そこで着信時に振り込め詐欺を抑止する音を再生し、通話を自動録音する装置を無償で貸し出し、詐欺と疑われる通話内容の報告などに協力していただきます。

対象 65歳以上の高齢者がいる世帯貸し出し台数 2台

モニター期間 3月15日(火)まで

※同居するかたがモニター事業に同意していることなどの条件があります。

申込期限 2月12日(金)

申問 市消費者の会
(市外郭団体事務室内)
☎⑤6783



平成28年度自衛官募集

募集種目	応募資格	受付期間	試験期日
予備自衛官補(一般公募)	平成28年7月1日現在で18歳以上34歳未満のかた	4月8日(金)まで	4月16日(土)
予備自衛官補(技能公募)	平成28年7月1日現在で18歳以上で各種国家免許資格等(※)を有するかた		

試験会場は別途各人へ連絡します
(※) 各種国家免許資格はお問い合わせください。

申問 自衛隊青森地方協力本部三沢募集案内所 ☎⑤1346

第48回市民スキー大会参加者募集

新種目「タイム差チャレンジ」を設けました。1本目と2本目のタイム差の少ない順で表彰します。初心者でも入賞のチャンスがあります。

とき 2月21日(日)

午前9時～午後1時

ところ 十和田湖温泉スキー場

対象 市内在住のかた

競技方法 同じコースを2本滑走

種目 ①大回転競技
②タイム差チャレンジ
費用 500円
申込期限 2月16日(火)
申問 市スキー協会事務局 ☎②2420

【有料広告欄】 「広報とわだ」に広告を掲載しませんか。申込先 総務課広報男女参画係 ☎⑤6702

お手持ちの「家」、お売りください

空き家で管理が大変
売りたいが、人に知られたくない
相続したが不要
現金化したい

買取査定・買取相談が無料0円

株式会社 カチタス十和田店 ☎0120-36-2247
〒034-0001 十和田市大字三本木字福吉 85-66 国土交通大臣免許(5)第5475号

《お気軽にご相談ください》

弁護士法人 青空と大地
〈青森県弁護士会所属〉
弁護士 橋本明広 弁護士 塩澤将宏
十和田市西三番町1番42号 NTT十和田ビル2階

取扱業務
民事全般、不動産、離婚、相続、成年後見、債務整理、会社関係、刑事(上記以外の事件も取り扱っています。)
相談料 初回60分 5,000円(税別)
(個人の多重債務相談は無料です。)
相談は電話又は来所による予約制です。
☎0176 (21) 5162 (受付時間 平日9時～17時30分)
http://www.aozora-daichi.com

平成28年度「第9回オープンガーデンとわだ」参加者募集

庭の花壇を公開できる個人・職場・団体を募集します。

あなたも花を植えて美しいまちづくりの輪を広げましょう。

開催期間 5月1日～10月31日
午前9時～午後4時

※開催期間内で都合の良い季節・時間で結構です。(例・8月1日～10日 午前10時～午後4時)

参加要件 市内にある花壇のオーナーで、市民に公開しても良いかた



申し込み方法 申込書に必要事項を記入し、持参してください

※申込書は、都市整備建築課に備え付けているほか、市ホームページからダウンロードできます。

申込期限 2月29日(月)
申問 都市整備建築課 ☎6737

赤十字社費の申し込みを募集しています

赤十字の活動は、皆さまから寄せられる社費や寄付金によって支えられ、国内の災害救護や国際救援などの活動に役立てられています。

赤十字社費の募集のため、町内会長や日赤関係者などが各家庭を訪問しますので、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

問 まちづくり支援課 ☎6777

講座・教室

東公民館講座

「遊友ひがし」公開講座

今、注目を集める「エンディングノート」。何を決めておけばいいのか、講師の体験談をヒントに一緒に考えてみましょう。
演題 終活を始めよう
～私の体験を語る～
講師 あおもり県民カレッジ中南学友会会員 花田 輝明さん

とき 2月19日(金)
午後1時30分～3時
定員 60人
申問 東公民館 ☎249000

十和田湖公民館講座

健康リフレッシュ体操教室

とき 2月26日(金)
午後1時30分～3時30分
定員 20人(応募多数時抽選)
持ち物 汗拭きタオル、飲み物(水、スポーツドリンクなど)

申込期限 2月12日(金)
申問 十和田湖公民館 ☎72102



南公民館講座

男性の料理教室

ぎょうざ、鶏のから揚げ、みそ汁を作ります。

とき 2月14日(日)
午前9時30分～正午

対象 市内在住の男性
定員 10人(応募多数時抽選)
費用 800円

持ち物 エプロン、三角巾
申込期限 2月8日(月)

季節の和菓子作り

とき 2月16日(火) 午前10時～正午
対象 市内在住のかた
定員 16人(応募多数時抽選)
費用 600円

持ち物 エプロン、三角巾
申込期限 2月5日(金)
申問 南公民館 ☎224416



催し

十和田市老人クラブ連合会

第26回芸能発表会

シニアとヤングがリンクしよう。AND「生きがいづくりを」ジョイフルに!

とき 2月5日(金) 午前10時
ところ 市民文化センター

※一般のかたの観覧も歓迎します。
問 市老人クラブ連合会事務局

☎258633

【有料広告欄】 「広報とわだ」に広告を掲載しませんか。申込先 総務課広報男女係 ☎6702

社会福祉法人 福祉の里

老人保健施設 **みのり苑**



〒034-0061
十和田市大字切田字横道100-22
TEL 0176-25-1100 / FAX 25-1115

ケアハウスポナール十和田



〒034-0089
十和田市西二十三番町30-36
TEL 0176-22-2211 / FAX 22-5621

福祉の里 アネックス元町



〒034-0002
十和田市元町西一丁目13-36
TEL 0176-21-1888 / FAX 21-1880

福祉の里では、看護師、介護福祉士、理学療法士、作業療法士などの数多くの専門職が働いています。



第26回十和田市伝統芸能まつり

市内に伝わる、県・市指定の伝統芸能(神楽・駒踊・鶏舞)を一堂に集めて披露します。

また、今回は、当市とゆかりある福島県会津若松市から市指定無形文化財の「小松獅子保存会」を招待し、会津に伝わる民俗芸能を披露していただきます。

とき 2月14日(日) 正午～午後4時

ところ 市民文化センター

出演団体 ▼沢田鶏舞保存会・後継者

者▼南部駒踊上館保存会・後継者

▼南部駒踊滝沢保存会・後継者▼

南部深持神楽保存会▼南部洞内神

楽保存会・後継者▼晴山獅子舞保

存会・後継者▼洞内南部駒踊保存

会(五十音順)

問 スポーツ・生涯学習課 ☎2313



▲招待芸能「小松獅子保存会」

「とわだ生涯現役プロジェクト」活動団体報告会

これからの長寿社会を支えるため、市内でシニア世代による地域支え合いの体制づくりに取り組んでいるかたがたの活動発表のほか、講話を行います。自分の地域に必要な支え合いの形を一緒に考えましょう。

とき 2月23日(火)

午後1時30分～4時

ところ 市民文化センター

講話 「はじめよう 支え合う」 地域づくり」さわやか福祉財団イン

ストラクター 葛原 美恵子さん

定員 80人

申込期限 2月19日(金)

問 高齢介護課 ☎6720

十和田市立中央病院

「市民健やかゼミナール」

中央病院スタッフとともに、医療と健康について気軽に学んでみませんか。当日は「がん」に関する個別相談コーナーもあります。

とき 2月23日(火) 午後4時～5時

ところ 中央病院1階外来待合室

内容

- ①お話し「健診のすすめ」がんの早期発見のために」
- 院長 丹野 弘晃
- ②院長と緩和ケア認定看護師による「質問・個別相談コーナー」

※駐車場料金は150円です。

問 中央病院業務課 ☎235121

「薬とかしこく付き合う方法」講演会

薬を服用したり使用するのに自己判断は禁物！正しい薬の使い方について学びます。

とき 2月24日(水) 午後6時～

ところ 総合体育センター

講師 青森大学薬学部

教授 小笠原 恵子さん

問 (一社)十和田労働福祉会館

☎236820



保育のしごと応援セミナーin十和田

保育士の就職に特化したお仕事相談会です。保育の就職に役立つセミナーと、「ニガテ克服個人レッスン」を用意しています。保育に興味があるかたはぜひご来場ください。

とき 2月21日(木)

午前10時～午後3時

ところ イオンスーパーセンター十和田店

問 青森県保育士・保育所支援センター

☎0177-718-2225



【有料広告欄】

「広報とわだ」に広告を掲載しませんか。申込先 総務課広報男女参画係 ☎6702

いびき、睡眠時の無呼吸ご相談下さい。



あおもり睡眠クリニック

TEL.017-762-3666

青森市西大野5丁目1番4 (ユニバース大野店近く)

借金のご相談 無料 任意整理...1社2万5千円



アカシアの森法律事務所

青森県弁護士会所属 弁護士 今井 正

- ①大手消費者金融へ5年以上返済を続けている。
- ②金利が25パーセント前後だった。

上記①、②に該当した方は過払い金が戻ってくるかもしれません。貸金業者が倒産する前に、善は急げ！まずはお電話ください。

ご相談はお電話で 予約ください。 ☎0176-51-4317

http://www.acacia-forest.jp アカシアの森法律事務所 (検索)

〒034-0082 青森県十和田市西二番町8-4 (十和田市現代美術館駐車場隣)

道の駅とわだ

ニンニク・フェアを開催します

とき 2月28日(日)

◆「野菜ソムリエ」のニンニク料理のレシピ紹介と試食会

◆レストランにてニンニクを使用したメニューの提供

問道の駅とわだ ☎ 283790

駒っこランド(月曜休苑)

■雪まつり

とき 2月14日(日)

午前10時～午後3時

①雪上ゲーム大会(小学生以下・当日先着順) そり、チューブ、親子馬力大会、宝さがし

②先着200人にお雑煮の振る舞い(午前10時整理券配布)

③福まき ④冬のお話上映

⑤雪像コーナーほか

■キッズゲレンデオープン

積雪期間中、そり、チューブ、竹スキーを無料で貸し出します。

時間 午後9時～午後4時

問馬事公苑称徳館 ☎ 2100



市民の広場

市民の皆さんが行う催しの紹介、サークルなどの会員募集のコーナーです。費用の記載がないものは無料です。掲載希望のかたは市ホームページをご覧ください。

ストレッチポールとエアロビクス体験会

- ①ストレッチポールを使って体の歪みを改善しましょう(30分)
 - ②エアロビクスで楽しくいい汗かきましょう(60分)
- ※①、②の両方、またはどちらか一方でも結構です。

とき 2月8日、15日、22日、29日
いずれも月曜日

- ①午前10時、午後7時
- ②午前10時30分、午後7時30分

ところ 15日は東公民館
その他は市民交流プラザ

定員 各回5人 先着順

持ち物 ヨガマットかバスタオル、シューズ、飲み物

※電話でお申し込みください。

問加藤 ☎ 090-8580-9169

スポーツ吹矢体験教室

呼吸を使って矢を吹き飛ばす簡単なスポーツです。呼吸器を鍛えることで諸病の予防にもつながります。

とき 2月12日(金)
午前10時～11時50分

ところ 南公民館

定員 15人

申し込み方法 電話(先着順)

問スポーツ吹矢駒っこ十和田支部
寺下 ☎ 226169

ゆるくてやさしいヨガ無料体験

呼吸の使い方がかたい体をほぐします。ヨガストレッチ、ゆがみをとる矯正瞑想をします。

とき 2月17日(水)
午前9時30分～11時30分

ところ 市民交流プラザ

対象 成人 定員 10人

持ち物 タオル、飲み物

申込期限 2月16日(火)

問ゆるくてやさしいヨガ愛好会
吉田 ☎ 090-6687-5813

十和田セライオFC サッカークラブ入会説明会

キッズから中学生まで一貫した指導を行っています。28年度は女子クラブチームも始動します。

とき 3月10日、24日

いずれも木曜日

午後7時～8時30分

ところ 総合体育センター

対象 5歳～中学生(男女)

※直接会場へおいでください。

問事務局・伊藤 ☎ 090-4314-3376

青森県市民バンドブラスフェスタ

県内の吹奏楽団が一堂に会し、団体ごとの演奏後、全団体による合同演奏をします。総勢150人の迫力ある演奏をお楽しみください。

とき 2月28日(日) 午後2時開演

ところ 市民文化センター

問クレールウインドオーケストラ

山下 ☎ 090-7329-4964

【有料広告欄】 「広報とわだ」に広告を掲載しませんか。申込先 総務課広報男女参画係 ☎ 6702

内覧会のご案内

支える 学ぶ きたえる 集う



をテーマにした複合型介護施設よつ葉をみにいらっしゃいませんか?

平成28年3月6日(日)7日(月)8日(火) 9時～16時

ご近所お誘いあわせのうえお越しくださいませ。

送迎バスもご用意しておりますのでお気軽にお問い合わせください。

内覧をご希望される方は

お手数ですが2月26日(金)までにご連絡くださいませ。

株式会社エバーグリーン 複合型介護施設よつ葉

東十一番町 前谷地公園前に

平成28年3月オープン

<お問い合わせ>

0176-68-3358

七戸町字小田下21-2
株式会社エバーグリーン
よつ葉開設準備室
担当:鈴木・類家





2月の市民無料相談

内容	日時
◆行政相談 行政機関などの業務に対する苦情、意見、要望などの相談	1日(月)・15日(月) 1日は十和田湖支所同時開催 午後1時～3時
◆人権相談 いじめや差別、家庭内や隣近所とのもめごとなどの相談	12日(金)・26日(金) 午後1時～3時
◆法律相談 (定員7人) 相続、離婚、借金などの相談	24日(水) 午後1時～4時 ※17日(水)午前8時30分から予約開始
◆くらしとお金の相談 多重債務、生活資金などの相談	10日(水) 午前10時～午後4時 ※要予約
◆法テラス青森 (法律相談) 借金・離婚・労働問題などの相談 ※資力基準に該当するかた	9日(火)・23日(火) 午後1時～4時 ※予約先 ☎ 050-3383-5552
◆消費生活相談 悪質商法、架空請求、製品事故などの消費生活の相談	毎週月～金曜日 午前8時30分～午後4時30分 ※要予約
◆交通事故相談 交通事故による損害賠償、示談などの相談	16日(火) ※予約先県庁 ☎ 017-734-9235

ところ まちづくり支援課市民相談室
 申問まちづくり支援課 ☎ 6777

内容	日時
◆市税と介護保険料の 夜間納付・相談窓口	1日(月)～5日(金)、 22日(月)～26日(金)、 29日(月)～3月4日(金)

とき 午後5時30分～8時
 ところ 収納課・高齢介護課
 ※今月は介護保険料も行います。
 問収納課 ☎ 6760・高齢介護課 ☎ 6721

内容	日時
◆確定申告・税金の無料相談	23日(火) 午前10時～午後3時

ところ 各税理士事務所
 問東北税理士会十和田支部 ☎ 4140

▶▶借金とこころの無料相談会

弁護士、保健師などがチームとなって借金の相談だけでなく、それに伴う悩みの相談や生活再建に向けたさまざまな相談に応じます。どなたでも相談できます。

- ◆とき 2月13日(土) 午後1時～3時
- ◆ところ 市保健センター
- ◆主催 青森りんごの会
(青森多重債務被害等をなくす会)

申問青森りんごの会事務局 ☎ 080-6057-3792



休日当番医

問健康増進課 ☎ 6790

7日(日)	十和田外科病院 ☎ 25151
11日(木)	十和田泌尿器科 ☎ 7340
14日(日)	岡本整形外科クリニック ☎ 201101
21日(日)	さとの整形外科クリニック ☎ 25885
28日(日)	高松病院 ☎ 236540

その他の催し

<>…開始時間

1(月)	▶十和田切り絵愛好会 作品展～市民文化センター (問十和田切り絵愛好会 ☎ 238516) (～29日)
4(木)	▶野菜作りの為の講習会<13:30>～市民文化センター (問沼畑種苗店 ☎ 234853) ▶おしゃべりサロン「クローバー」<10:00・13:30> ～保健センター (問傾聴サロンとわだ・黒子 ☎ 090-2796-0999)
5(金)	▶市老人クラブ連合会第26回芸能発表会<10:00> ～市民文化センター (問市老人クラブ連合会 ☎ 258633)
6(土)	▶紙しばい倶楽部とわだ<10:30>～市民図書館 (問市民図書館 ☎ 237808)
12(金)	▶星空観望会「冬の六角形の主役たち」<19:00> ～市民文化センター (要予約) (問市民文化センター ☎ 225200)
13(土)	▶話しのサロン・こころの広場ルピナス<10:00> ～勤労青少年ホーム (問健康増進課 ☎ 6791) (27日も開催) ▶語りの会・こま草「おはなしのゆうびんやさん」<10:30・13:30>～市民図書館 (問市民図書館 ☎ 237808) (27日も開催)
20(土)	▶わっこの会「読み聞かせ」<10:30>～市民図書館 (問市民図書館 ☎ 237808)
28(日)	▶普通救命講習会<9:00>～十和田消防庁舎 (対象：中学生以上の市民) (問十和田消防署 ☎ 254115)

2月29日(月)が納期限です ■国民健康保険税第8期
 ■介護保険料第8期 ■後期高齢者医療保険料第8期



現代美術館特別展

問現代美術館 ☎ 1127

ちれい

地霊 - 呼び覚まされしもの

～写真の町東川賞コレクションより～

会期 1月30日(土)～5月15日(日)

観覧料 一般600円、高校生以下無料

北海道上川郡東川町は、「写真の町東川賞」として30年以上にわたって国内外の写真作家を表彰し、その作品を展示、プリントを収集し続けています。海外作家賞、国内作家賞、新人作家賞などの作品は粒ぞろいで、きわめて貴重なコレクションといえるでしょう。

本展では、その「東川賞コレクション」より、土地固有の守護精霊「地霊」をテーマに20組の作家の写真を紹介しします。

■関連イベント

ポートフォリオ・レビュー

講師 飯沢 耕太郎 (本展覧会キュレーター)

写真家を志す人にとって、ポートフォリオ (作品ファイル) を作ることはとても大事なことです。よいポートフォリオとはどんなものなのか、実際に持ってきていただいたポートフォリオを講評しながら考えていきます。

他者の作品を見ることも大事なので、ポートフォリオを持参されないかたも参加可能です。完成度の高さよりも、思い切った自分のやりたいことを表現している作品を期待しています。

日時 3月12日(土) 午後1時～3時

料金 1,500円 (ワンドリンク付き)

定員 12人 (要事前予約)

◆2月10日(水)は市民無料デー

常設展が無料でご覧いただけます。免許証・保険証など住所が確認できるものを受け付けに提示してください。



— 第45回 —

B-1 ボランティア キャンピングカーで お手伝い

ひろた なおき
広田 直喜 さん

MEMO

平成27年10月3・4日に開催されたB-1 グランプリ in十和田は、延べ5,530人のボランティアが活躍。大会成功の大きな原動力となりました。それぞれが思いを抱いて活動し、「一人一人が市の誇り」と小山市長は称えます。

ボランティアの一人、広田直喜さんは十和田市出身。また急行運送勤務。夫人と仲間を誘い、趣味を生かしたボランティア活動を展開した「市の誇り」の一人です。

「授乳所が、ただプレハブを置いてだけで何の配慮もなかった」
そんな、過去のB-1大会について書かれたブログを見た広田さん。「自分のキャンピングカーが役立つかもしれない」と、仲間1組を誘い、それぞれのキャンピングカーを授乳所として提供。2日間ボランティアとして従事しました。

「車には暖房やオルゴールのBGMをかけたがり、外にはひさしを延ばしたり、あれこれ考えて準備しました。プライベートに配慮して1組ずつの利用にしましたが、いざ始まったらずっと人が多く、2組ずつ入ってもらいました。それでも、皆さん『使いやすいかった』と声を掛けてくれて」と、笑顔で振り返ります。

15年以上前、友人と出掛けた大曲の花火大会で、キャンピングカーの1団が何不自由なく楽しんでいる様子に感嘆し、小さな中古を手に入れたのが、広田さんにとって初めてのキャンピングカー。以来、休日には完全自立型と称する愛車で宿の心配もなく思う所に出掛け、普段では出会うことができないようなさまざまな種類の仲間を得て、充実した時間を過ごしています。「県外のキャンピングカー仲間には、我が家の空き地を拠点にして十和田湖や美術館を堪能してもらっています。官庁街通りの散策が目当てという人もいます



自前のキャンピングカーで、スタッフとともにおもてなしをする広田さん夫妻。仲間の授乳所も大盛況でした。

よ。B-1では、情報発信やメディアへの露出を頑張つて成功につながたと思います。今後は市でも効果的な宣伝に励んでほしい。みんなが十和田の魅力や底力を実感した、この経験を生かさないともったいない」と、提案します。

何でもいからボランティアをしようと思つていたと言う広田さんは、十和田西高校の1回生。後輩の活躍を意気を感じていました。そして実現したのが自分ならではの協力。

まちづくりへの意見を伺うと「誰もが動けるうちに、文化でも、スポーツでも、遠慮せずに好きなことを楽しんで、仲間づくりをすること」と話してくれました。

主体的で充実した一人一人の人生が、まちづくりの力になり、到達目標でもあるのかもしれない。

『ラヴィアンローズ!』
改めて、合言葉の意味に触れたような気がします。



とわだ子ども議会



12番
 附田和花さん(北國小)
質問 市民の心が豊かで優しい市にしたい。青空図書館を実施し、PRのためケーブルテレビを設置してはどうか。
答弁 市民図書館の芝生広場を活用し、イベント開催を検討したい。PRは既存の媒体を充実させ情報発信をしていきたい。

11番
 立崎龍之介くん(北國小)
質問 地球温暖化防止に貢献する市にしたい。電気自動車購入補助金を出してはどうか。
答弁 電気自動車の無料充電スタンドを市内3カ所に設置し、支援をしている。まず市民が身近でできることをするよう呼び掛けていきたい。

10番
 高橋駿輔くん(北國小)
質問 大きな店があって誰でも楽しめる市にしたい。いろいろな店や公共施設を増やしてはどうか。
答弁 中心市街地の活性化のためさまざまな事業に取り組んでいる。空き店舗活用の支援にも努めたい。

9番
 長瀬玲奈さん(ちとせ小)
質問 住み心地のよい市にしたい。市民参加のゴミ拾いや高齢者支援をしてはどうか。
答弁 市民がゴミ拾い活動に参加するように支援・呼び掛けをしたい。高齢者が安心して暮らすためのネットワークづくりに取り組んでいる。

16番
 繁在家千南さん(北國小)
質問 安全で安心して住める市にしたい。交通事故を減らすために歩車分離式信号機に目立つ印を付けてはどうか。
答弁 関係機関と協力して交通事故防止活動を実施している。目立つ印については信号機を設置している警察と相談したい。

15番
 長畑智良さん(北國小)
質問 スポーツが盛んな市にしたい。雨天時に使用できる屋内施設を建設してはどうか。
答弁 既存の焼山地区のアンネックススポーツランドの活用を動いている。新規建設は公共施設全てを含んだ建設計画の中で検討していきたい。

14番
 柏崎花さん(北國小)
質問 市民が市の特産物や観光資源を大切にしたい。観光資源のPR、勉強会、清掃活動などをしてはどうか。
答弁 PRは実施している。勉強会はふるさと出前きらめき講座が利用できる。清掃活動への参加を呼び掛けたい。

13番
 菅優月さん(北國小)
質問 活気があって明るい市にしたい。市民のニーズを知るためにイベントに係るアンケートを実施してはどうか。
答弁 イベントの充実と役立つ一つの手段としてのアンケート実施をイベント主催者などに働き掛けていきたい。

十和田市の未来を一緒に考える

12月25日、市議会議場で「とわだ子ども議会」が開催されました。これは、子どもたちが議会の模擬体験することで、議会や市役所の仕組みを学び、質問を通して市について考え、郷土を愛する心を育むことを目的に、平成25年から行っているものです。

勉強会で議会や市役所の仕組みを学んだ市内小学校6年生の22人の子ども議員は、緊張した面持ちで入場し、議席に着席しました。議事の進行を金澤瑛太くん(三本木小)と米田光希さん(ちとせ小)が交代で行い、市政に対する質問を行いました。22人の子ども議員が、市民ふれあいイベントの開催や屋内スポーツ施設の増設などについて質問すると、答弁に立った小山田市長や米田教育長は丁寧に答え、子ども議員はメモを取るなどして真剣に耳を傾けていました。

議長を務めた金澤瑛太くんは、「緊張しましたが、本番でしっかりできました。自分では百点の出来です。議員の仕事を経験したこと、このような形で十和田市のことが決まってきたのだということがわかりました」と感想を話しました。

20番
 佐々木栄峰さん(三本木小)
質問 自然と観光施設のバランスの良い市にしたい。奥入瀬渓流の滝の看板設置と土産店の増設してはどうか。
答弁 看板については設置している青森県に働き掛けたい。土産店増設の前に観光客を増やす取り組みをしたい。

19番
 二本柳愛子さん(三本木小)
質問 高齢者や体の不自由な人が楽しく生活できる市にしたい。公共施設にスロープや手すりを設置してはどうか。
答弁 市民文化センターや市民交流プラザには設置している。平成31年に建設予定の市役所新庁舎にも設置したい。

18番
 金澤瑛太くん(三本木小)
質問 安全で安心して暮らせる市にしたい。不審者目撃情報などを早く市民に伝える仕組みを作ってはどうか。
答弁 平成23年から携帯電話などを通じて情報を伝える駒らん情報メールの運用を開始したので登録をお願いしたい。

17番
 四橋愛理州さん(北國小)
質問 高齢者や子どもが住みやすい市にしたい。健康維持活動への取り組み、防災マップの作成をしてはどうか。
答弁 健康維持活動への支援をし、各種の予防マップも作成されている。地域ぐるみの防犯活動を広めていきたい。

4番
 新山功純くん(南小)
質問 家族連れでにぎわう市にしたい。屋内型の遊べる施設の設定や施設巡りツアーを開催し、観光客にPRしてはどうか。
答弁 施設の方向性を決める計画の中で検討したい。観光客のニーズに応えられるツアーなどを検討していきたい。

3番
 久留主和彦くん(南小)
質問 歩道などにゴミが落ちていないきれいな市にしたい。いろいろな場所にゴミ箱を設置してはどうか。
答弁 ゴミを自分の家に持ち帰り、ゴミ出しのルールを守ってもらえるよう市民の皆さんをお願いしていきたい。

2番
 水尻穂香さん(西小)
質問 もっとにぎやかな市にしたい。「夏祭り」と「冬祭り」を増やしてはどうか。
答弁 市では1年を通してたくさんイベントが行われている。そのイベントをより充実させ、市内外に広くPRすることをもっと活気づかせたい。

1番
 澤口詩さん(西小)
質問 環境に気を配れる市にしたい。ボランティアのチームを作ってはどうか。
答弁 現在、多くの環境を守るボランティア団体が活動中である。その活動状況を広報などで市民の皆さんにお知らせし、活動を支援していきたい。



勉強会の様子
 平成27年11月21日
 市民交流プラザ「トワレ」

▼議会や市役所の仕組みについて学びました

▲質問・提案したいことをみんなの前で発表しました



22番
 大竹真央さん(三本木小)
質問 観光客が訪れる活気と笑顔が溢れる市にしたい。特産品の全国展開や観光スポットの増設してはどうか。
答弁 特産品の売り込みは市内外のイベントで積極的に実施している。観光客のニーズに応える取り組みを検討していく。

21番
 小川微菜子さん(三本木小)
質問 他県の人に来てほしいと思うような市にしたい。十和田産品や十和田ふあみりーずをSNSを活用し、PRしてはどうか。
答弁 平成24年度よりフェイスブックやツイッターで情報発信をしている。より行き届いた情報発信を心掛けたい。

8番
 米田光希さん(ちとせ小)
質問 観光客が楽しめる市にしたい。家族みんなで楽しめるレジャー施設を作ってはどうか。
答弁 施設の方向性を決める計画の中で検討したい。道の駅や駒っこランドなどを利用して楽しんでいただきたい。

7番
 宮田あかりさん(南小)
質問 選挙の投票に参加する人が多い市にしたい。期日前投票所を増やしてはどうか。
答弁 選挙権が18歳から与えられる法律改正を受けて、有権者の増を見越して、期日前投票所を来年度から2カ所増やすことで準備を進めている。

6番
 鳥谷部凜さん(南小)
質問 市民が仲良く生活できる市にしたい。交流施設設置や月1回のふれあいイベントを実施してはどうか。
答弁 市民交流プラザがオープンし交流の場として利用いただいている。イベント実施については考えていきたい。

5番
 佐藤友梨さん(南小)
質問 高齢者が住みやすい市にしたい。高齢者を介護する人を設置してはどうか。
答弁 現在、介護保険という仕組みによって、介護サービスが利用できる。提案のあった散歩などの運動習慣も勧めたい。

乙女の像ライトアップ・開運の小道（鳥居）ライトアップ 午後5時～9時



銀世界に注がれる光が織りなす夢のひとつとき。

十和田湖冬物語

2016 Pageant And Light Snow In The Lake Towada

2月5日(金)～28日(日) 十和田湖畔休屋特設イベント会場

平日 午後3時～9時 土日祝 午前11時～午後9時

〒100-8585 東京都千代田区千代田1-1-1 十和田湖冬物語実行委員会 ☎03-2425

幻想◎冬花火
午後8時～(約10分)



感動◎イルミネーション・ライトアップ
午後5時～9時



ほかにも楽しいこといっぱい♪

- ◎スノードーム作り(毎日) 500個限定
- ◎ワックスボール作り(毎日)
- ◎灯ろう作り(平日のみ)
- ◎十和田湖雪上大運動会(2月13日(土))
歩くスキー、雪上カーリング、スノーフラッグなど
- ◎チョコレート作り(2月14日(日))

十和田湖は2月1日に
国立公園指定80周年
を迎えました。



心地◎かまくらBar

ノンアルコールカクテルや
スープなどメニュー充実



午後6時～9時

郷愁◎ゆきあかり横町



平日午後3時～9時・土日祝午前11時～

体験◎グリュウワイン

1000個限定! 80周年記念グラス



午後6時～9時

人口と世帯 平成27年12月末現在 ※ () 内は前月比

- 人口/63,444人(−32人) 男/30,370人(−10人) 女/33,074人(−22人)
- 世帯数/27,251世帯(−2世帯)



～今日も無事でいてほしい～
みんなでつくろう安全・安心なまち
セーフコミュニティ十和田

